



シルバー
連合会

いしかわ

第32号

平成26年7月発行

出発式（写真提供：金沢市）



金沢百万石まつり

提供：公益社団法人 金沢市シルバー人材センター

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ：<http://www.sjc.ne.jp/ishikawa/>

目次

シルバー人材センター連合会 2014. 7 32号

新任 ごあいさつ

石川県商工労働部長	田 中 新太郎	1
石川労働局職業安定部長	佐 藤 雅 文	2

平成26年度 定時総会の開催	3
＜シルバー人材センター事業関係功労者表彰＞	

平成26年度 理事会の開催	4
---------------	---

平成26年度 事業計画	5
-------------	---

平成26年度 第1回事務局長会議の開催	8
---------------------	---

新任理事長・事務局長紹介	9
--------------	---

平成26年度 安全・適正就業推進大会の開催	11
＜安全就業標語入選者及び作品＞	

シニアの『健康相談室』	13
-------------	----

平成26年度 シニアワークプログラム地域事業実施状況	15
(技能講習・就業支援講座・管理選考会)	

受託事業受講者コーナー	18
-------------	----

シルバー人材センターだより

公益社団法人 金沢市シルバー人材センター	19
----------------------	----

「新規事業」紹介	20
----------	----

普及啓発事業紹介	21
----------	----

県内のシルバー事業の実績	23
--------------	----

編集後記	24
------	----



就任のごあいさつ

石川県商工労働部長 田中 新太郎

本年4月8日付で石川県商工労働部長を拝命いたしました田中でございます。

平素より本県商工労働行政の推進につきまして、格別のご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

本県の経済情勢は、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、鉱工業生産指数がリーマン・ショック前の水準を上回り、個人消費も緩やかに持ち直すなど、景気は緩やかに回復しております。

また、雇用情勢につきましては、5月の有効求人倍率が1.33倍となり、平成25年3月以来15ヶ月連続で1倍を超えているほか、大学等の新規学卒者の就職内定率が平成8年の調査開始以降最高となるなど、改善しております。

県といたしましては、緩やかに回復している本県経済を腰折れさせることのないよう、地域の経済動向や雇用情勢を十分注視しながら、時機を逸することなく必要な対策を講じてまいり所存です。また、今後10年を見据えて新たに策定しました「石川県産業成長戦略」に基づき、産業施策の軸足をリーマン・ショックに端を発した経済・雇用情勢の回復に重点を置いた対策から、県内企業の皆様が「将来の成長に向けた攻めの一步を踏み出す」ことを積極的に後押しする方向に転換し、本県経済の持続的成長の実現に向けて、官民連携して取り組むことといたしました。

今後は、この戦略を拠り所として、新技術や新製品開発への支援、国際展開の拡大、戦略的な企業誘致の推進、次世代産業の創造、産業人材の総合的育成・確保などの施策を強力に展開

してまいります。

さて、現在、我が国では世界でも類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおります。平成24年に公表されました国の推計によると、約20年後の2035年（平成47年）には、3人に1人が65歳以上になるといわれており、本県においても、平成25年10月現在の県推計人口では65歳以上の方々の割合が人口全体の26%を超えるなど、少子高齢化が進んでおり、地域の活力低下が懸念されるところであります。

こうした中、昨年発表された国の「日本再興戦略」において、女性や若者、高齢者等全員参加による新たな成長への道筋が示されたところであり、社会の「支え手」としての高齢者の活躍に大いに期待が高まるとともに、シルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要になるものと考えております。

現在、本県では18市町においてシルバー人材センター事業が実施され、1万人近い会員の皆様が、その能力や長年培ってきた経験を活かして日々活動されております。これもひとえに地域の方々のご理解及び貴連合会・各市町シルバー人材センターの皆様のご尽力の賜物であり、心から感謝を申し上げたいと思います。

県といたしましては、今後とも石川労働局をはじめ関係機関と連携を図り、関係市町のご協力も得ながら、シルバー人材センター事業のより一層の充実に努力をしてまいり所存でございます。

関係者の皆様におかれましても、引き続きご尽力・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



就任のごあいさつ

石川労働局職業安定部長 佐藤 雅文

本年4月1日付けで、石川労働局職業安定部長を拝命しました、佐藤です。

皆様には、日頃から労働行政の運営に深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の景気の状態を見ますと、今年4月の消費税増税の影響が懸念されておりましたが、一部に弱さがみられるものの大きな影響はなく、景気は順調に推移しており、県内の雇用失業情勢についても、今年5月の有効求人倍率は1.33倍と15カ月連続して1倍を超え、全国の中でも非常に高い水準にあるなど、改善傾向にあります。しかし、一方では、皆様御承知のとおり、我が国の少子・高齢化は急速に進行しているところであり、2010年を境に人口減少時代に入り、今後の労働力の不足が懸念されております。

高齢者の雇用につきましては、昨年4月に改正高齢者雇用安定法が施行され、労働力不足と年金支給開始年齢の引き上げに対応するため、希望者全員65歳までの雇用確保が義務付けられています。また、内閣府がとりまとめた「平成26年版高齢社会白書」において、35～64歳までの現役世代に“高齢化に向けた備え”に関する調査を行ったところ、約5割の方が「65歳を超えても働きたい」と希望し、そのうち「70歳まで働きたい」と答えた方も2割、また、全体の4分の1は「働けるうちはいつまでも」といった結果が報告されております。しかしながら、一方で、65歳以上の人口就業率は、現在、2割程度（※平成25年度石川県65歳以上平均人口就業率22.8%）に留まっている現状にあり、こうした世代も含めた高齢者の働く場の確保が喫緊の課題となっているところです。

このような中、シルバー人材センター事業

は、定年退職後等の高齢者に対して、地域に密着した仕事を提供し、高齢者の生きがいの創出や社会参加の促進を図るとともに、地域社会の福祉の向上に大きく貢献しているものであり、今後、益々その重要性は増していくものと考えております。

また、若年労働力が減少していく中で、高齢者が可能な限り社会の支え手としての役割を果たすことが必要で、我が国経済の活力を維持するためにも不可欠であり、意欲と能力のある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現が重要となっておりますので、今後、シルバー人材センター事業が県内全域で事業展開され、就業を希望する高齢者の方々が、どの地域でも自由に参画できるようになる等、事業の一層の発展、拡充を図られることを期待しております。

石川労働局といたしましても、高齢者の多様な就業機会の確保のための労働政策、社会福祉政策のいずれの観点からも、シルバー人材センター事業が果たす役割が重要であることを踏まえ、「石川県シルバー人材センター事業推進協議会」を設置し、センターの自律的・効率的な事業の推進に向けた方策等について、協議・検討を重ねるとともに、各機関の連携を図っていくこととしております。

最後になりますが、ここ近年の夏は、過去に例をみないほどの猛暑が続いており、熱中症による健康被害が数多く報告されております。関係の皆様におかれましては、健康にも十分に御留意をいただいた上で、引き続き御尽力、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、シルバー人材センター事業のさらなる発展を心から祈念申し上げます。

平成26年度 定時総会の開催



須野原雄会長

去る5月29日、ホテル金沢で今年度の定時総会が開催され、来賓の谷本正憲石川県知事（代理湊政彦労働企画課長）、石川労働局の佐藤雅文職業安定部長をはじめ関係者のご臨席を賜り盛大に開催されました。

開会挨拶の中で須野原会長は、報道等によると最近の経済動向は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動を受けてか緩やかに回復傾向とされ、石川県も来年3月に迫った北陸新幹線の金沢開業の経済効果が期待される場所であるとの認識のもと、25年度の石川県内のシルバー事業の実績及び会員数はともに前年度を若干下回り、シルバー事業を取り巻く環境の好転には至っていないことを指摘しました。その中にあっても、重篤事故がなく推移したことは、センターの役職員・会員の皆様の日頃のご尽力によるものと深く

感謝を表したあと、今後、当連合会では少子高齢化が一段と進む中、時代の要請に応える公益社団法人としての責務を果たすため、仕事を通じて高齢者の社会参加の促進を図り、地域住民や関係機関等と連携した福祉政策の推進やボランティア活動を展開し、地域社会の中核組織として関係者一丸となって取り組む所存が述べられました。

来賓のお二人からは、高齢者の生き甲斐の創出や社会参加の促進を図り地域社会の福祉の向上に大きく貢献しているシルバー人材センター事業は、今後ますますその重要性が増加すると考えられることを踏まえて、事業の一層の発展と拡充が図られることを期待している旨の挨拶を頂きました。

その後、公益社団法人能美市シルバー人材センターの酒野秀幸常務理事を議長に選任して、平成25年度事業報告・決算報告をはじめ予定された議題が審議のうえ承認されました。

併せて、定時総会に先立って行われたシルバー人材センター事業関係功労者表彰では、シルバー事業の運営に顕著な貢献をおさめて退職・退任された3氏の功績を称え、須野原会長から表彰状が授与され、出席の会員から祝福の盛大な拍手が送られました。



石川県
湊政彦労働企画課長



石川労働局
佐藤雅文職業安定部長



酒野秀幸議長と総会風景

シルバー人材センター事業関係功労者表彰

I センター理事長表彰(3期 6年以上) 2名

公益社団法人 中能登町シルバー人材センター
前理事長 こ やま しげ のり
小 山 茂 則

公益社団法人 内灘町シルバー人材センター
前理事長 たか くわ ひさ お
高 桑 久 雄



小山 茂則氏



高桑 久雄氏



福井 清久氏

II センター事務局長表彰(4年以上) 1名

公益社団法人 中能登町シルバー人材センター
前事務局長 ふく い きよ ひさ
福 井 清 久



表彰状授与式

平成26年度 理事会の開催

5月8日、石川県女性センターで第一回理事会が開催され、下記の議案が提案され、審議の結果、定時総会に提案する各議案等がいずれも承認されました。

記

- 第1号議案 平成25年度収支補正予算承認の件
- 第2号議案 平成25年度事業報告承認の件
- 第3号議案 平成25年度決算報告承認の件
- 第4号議案 平成26年度定時総会の招集の件
- 第5号議案 シルバー人材センター事業関係功労者
表彰実施の承認の件

(石川県シルバー人材センター連合会長表彰)

席上、報告事項として次の5点について事務局から説明をいたしました。

- (1) 平成25年度業務執行状況報告(後期分)
- (2) 平成25年度県内の事故発生状況報告
- (3) 安全・適正就業の徹底について
(関係機関からの指示事項及び具体的事例の詳細説明)
- (4) 有料職業紹介事業の実施計画について



平成26年度 公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 事業計画

(基本方針)

急速に進む少子高齢化の下、社会の活力を維持し、地域を支える担い手として高齢者に対する期待はますます高まっている。元気で意欲のある高齢者が、これまで培った経験、能力を活かし、就業を通じて社会を支え、同時に自分自身の生きがい、健康づくりにも寄与する「社会システム」として、シルバー人材センターは地域社会に定着してきた。

しかし、長引く景気の低迷、適正就業の徹底などにより、本県シルバー事業の契約実績は、現在のところ、前年度比0.9%の減となり、会員の就業機会の拡大、及び会員数の拡大には至っていない。

また、平成22年度から3年連続の補助金の大幅な減額や平成26年4月からの消費税の増税の影響など、シルバー人材センター運営の基盤が大きく揺らいでいる。このため、固定費や変動費の見直しによる損益分岐点の引き下げ努力と、これからの地域社会のニーズに対応した新事業の展開など、これまでの発想にとらわれない大胆な見直しが必要となっている。

このように、シルバー事業は「生涯現役社会の担い手として」大きな転換期に差し掛かっており、今後地域ニーズや会員の就業ニーズなどを的確にとらえ「就業機会の拡大」「会員の拡大」などに応えられるよう、財政基盤の強化、センター事業への会員の一層の参画、新しい就業形態の展開など、シルバー人材センターの基盤拡大に向け積極的に取り組んで行く。

(基本テーマ)

- 1 公益法人としての適確な運営及び財政基盤の強化、並びにコンプライアンスの確立
- 2 地域の信頼とニーズに応えられる事業の展開
- 3 安全就業の徹底と事故防止

- 4 適正就業の徹底
- 5 就業開拓の展開強化
- 6 中長期計画の策定

(事業実施計画)

1 公益法人運営事業

平成24年4月1日、シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）及び県内の18シルバー人材センター（以下「センター」という。）が揃って公益社団法人に移行し、平成26年度は3年目を迎える。今後、一層公益的な活動を行うことが求められ、また、これに沿った法人のガバナンス、コンプライアンス体制、情報公開と情報管理体制の整備など、公益社団法人にふさわしい運営が要請されている。また、会計・経理についても、「20年会計基準」による的確な事務処理が要求されている。

このため、組織運営や会計を始めとする事務処理など、あらゆる面においてスムーズな運営ができるよう、センターの事務・事業をサポートしていく。

- (1) 公益法人の運営や会計経理に係る研修会の実施
- (2) 県公益認定等審議会の公益法人立ち入り検査及び石川労働局の経理事務指導等に係るサポート
- (3) 地域ニーズ対応事業（旧企画提案方式事業）に関する連携協力
- (4) センターからの相談への対応、個別指導の実施

2 安全・適正就業推進事業

会員の「安全・適正就業」の徹底を最重要課題とし、平成24年度の9件の入院事故の発生や、平成25年度における事故件数の増

加傾向を踏まえ、事故の撲滅を目指し、各種事業を実施し組織を挙げて取り組む。また、平成 24 年度の石川労働局による指導内容を考慮し、一層の適正就業の推進に努める。

- (1) 安全・適正就業推進員の配置
- (2) 安全・適正就業パトロールの実施
- (3) 安全・適正就業強化月間の設定（7月）、安全・適正就業推進大会の開催、各センターが行う研修への講師派遣
- (4) 事故状況の把握・分析、事故防止意識の徹底、情報提供
- (5) 労働衛生コンサルタント医師の設置による健康教育研修の実施、健康相談、健康情報の提供
- (6) 安全就業等の啓発資料の作成、配布
- (7) 石川労働局の指導を得て、適正就業に係る研修の実施、適正就業の推進

3 普及啓発事業

シルバー人材センター事業について、広く一般に一層の理解と認識を得て事業の活性化に資するため、あらゆる機会をとらえて普及啓発活動を行う。

- (1) 機関誌「シルバー連合会いしかわ」の発刊（2回）
- (2) 啓発用パンフレット等の作成、配布ほか
- (3) 新聞、地域誌、経済団体広報誌等による広報
- (4) 普及啓発促進月間（10月）を中心とした連合会、各センターによる各種大会、ボランティア活動などの実施
- (5) センター未設置地域の訪問、相談

4 就業開拓等事業

多様化する地域のニーズや会員の就業ニーズに対応するため、新たな就業分野の開拓、拡大、情報の収集等を行う。特に団塊世代、女性会員、高齢会員に対応した新分野について地域ニーズ対応事業との連携も視野に検討する。

- (1) 就業開拓推進員の配置

- (2) 企業情報の収集・提供
- (3) 啓発用パンフレット等の作成、配布ほか（再掲）
- (4) 全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）、北信越シルバー人材センター連絡協議会（以下「北シ協」という。）主催の各種事業への参加、情報収集・提供

5 交流研修事業

センター役職員の資質の向上、活性化を図るため各種研修会等を実施する。

- (1) 公益法人（経理事務）研修会の実施（再掲）
- (2) 事務局長・経理・業務担当等各種研修の実施
- (3) センターに対して、全シ協が実施する「新任理事長研修」「新任事務局長研修」の受講勧奨
- (4) 全シ協、北シ協主催の各種事業への参加（再掲）

6 調査研究事業

センター事業の現状、課題等を把握し、事業の充実と推進を図るため、情報の収集、提供等を行う。

- (1) 「シルバー人材センター事業概要」の作成
- (2) 各種統計の集計・分析
- (3) 企業等情報・資料の収集・提供
- (4) 企業団体、全シ協、北シ協主催の各種会議、研修会における研究、検討（再掲）

7 中長期計画の策定

少子高齢化が急速に進展する中で、地域ニーズに沿った就業開拓・開拓、会員の事業への参加促進、事務処理の共同化などについての将来に向けた中長期的な計画を策定する。

8 指導相談事業

全シ協のセンター個別指導事業（委託を受

けて連合会が実施)及び、石川労働局の経理事務指導並びに県公益認定等審議会事務局(労働企画課)法人検査に併せ、各センターの事業運営、経理事務等について事後指導、助言を行う。

- (1) 全シ協指導実施計画による個別指導の実施(6センター)
- (2) 県公益認定等審議会の公益法人立ち入り検査及び石川労働局の経理事務指導等に係るサポート(再掲)
- (3) 公益法人の運営や会計経理に係る研修会の実施、情報提供(再掲)

9 センター事業の連携支援

今後ニーズの増加が予想される介護や、技能を有する会員が減少している造園等の分野への取り組みを強化するため、センター研修事業の連携を支援する。

- (1) 各種研修会のセンターとの共同実施(介護実践研修 80 人、刈払機 120 人)
- (2) 関係機関との連携・情報収集、担当者会議の開催による情報提供

10 地域ニーズ対応事業(旧企画提案方式事業)による事業

地域ニーズに応じた各種事業を自治体との連携・協働により行うことで、地域の活性化とセンターの事業拡大を図る。

(事業実施状況)

平成24年度～26年度 2センター、2事業

平成25年度～27年度 2センター、2事業

- (1) センターへの情報提供、及びセンターとの連携
- (2) 全シ協等の会議、研修会等の情報収集・提供

11 一般労働者派遣事業

高齢者の多様な働き方の選択肢の確保及び受託事業の適正化を推進するため、各事業所(センター)と緊密な連携を図りながら事業を実施する。

- (1) 派遣業務契約への契約切り替え等に対する指導助言
- (2) 派遣業務実務担当者の研修の実施
- (3) 派遣業務事務システムの一元化の研究・検討
- (4) 企業等情報・資料の収集・提供
- (5) 事業所に対して、厚生労働省等が行う「派遣元責任者講習会」の受講勧奨

12 職業紹介事業

高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部改正により、従来行っていた無料職業紹介事業が有料職業紹介事業に変更されることから、事業届出等必要な手続き等について順次進めていく。

※改正法施行日(平成24年10月1日)から2年経過、又は有料職業紹介事業の届出により無料職業紹介事業は終了

13 シニアワークプログラム(S P)地域事業〈高年齢者〉

(ただし、石川労働局が実施する同事業の事業受託者に選定された場合のみ)

石川労働局との契約に基づき、就職を希望する55歳以上の高年齢者を対象に、地域の事業主体団体等の協力を得て技能講習会等を実施し、高年齢者の雇用・就業を支援する。

- (1) 技能講習会の開催(35回、定員588人)
- (2) 面接会の開催(31回)
- (3) 講習修了者のフォローアップの実施

14 法人一般事業

総会、理事会等の開催

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事監査
- (4) 安全・適正就業対策委員会などの専門委員会
- (5) センター事務局長会議

平成26年度 第1回事務局長会議の開催

平成26年度第1回事務局長会議が石川労働局職業対策課苗山里美高齢者対策担当官及び同需給調整事業室諸田一良補佐をお招きして、県内18センター事務局長等総数32名が出席し、6月19日、石川県女性センターで開催されました。



苗山里美高齢者対策担当官

開会にあたり、須野原会長から「シルバーを取り巻く環境は極めて厳しい。一日も早い課題の解決に向けて、皆さんと努力してまいりたい」旨の挨拶のあと、予定された議題協議に入りました。

最初に、苗山高齢者対策担当官から「平成26年度のシルバー事業」にかかる、事業推進の基本指針についての説明をいただき、続いて、諸田補佐から「適正就業の徹底について」と題し、今後の労働者派遣制度の在り方に関して労働者派遣業務・請負業務を適正に実践するための取り組みについて、更なる徹底を期していただきたい旨のお話がありました。

午後に移り、田村彰英石川県危機管理監室参事兼課長補佐からは「石川県の危機管理体制」に基づき、非常時における安全への取り組み強化について協力が求められました。

続いて、山本連合会事務局長から、5月に開催された全国シルバー人材センター事業協会の「平成26年度事務局長会議」の議題であった、①厚生労働省の「高齢者の就業機会の確保・拡大への要請」②「平成26年度の課題と取り組みとして『シルバー人材センター事業の在り方』『基盤拡大事業』など」③「安全就業」④「適正就業」⑤「生活支援サービスの動向」、について配付資料に基づき伝達をいたしました。

また、「就業機会、会員数の拡大のための全国展開として」会員による1人1仕事開拓、1人1会員入会の全国運動など、組織をあげて積極的な事業の展開を推進する旨の決意とその要請をいたしました。

その他、稲本事務局次長が、有料職業紹介事業の取り組み経過と事務手続きとして「届出計画」の日程等についての説明と、今後の協力要請をいたしました。

また、シルバー事業における安全対策と適正就業の更なる徹底・SP事業の計画・拠点センター支援事業の計画等についての理解とこれからの協力体制についての認識の共有を図り閉会しました。



諸田一良需給調整事業室補佐

新任理事長・事務局長紹介

新任理事長



公益社団法人 金沢市シルバー人材センター

理 事 長 ^{かわ}川 ^{はら}原 ^{とし}利 ^{はる}治 氏

●●●抱 負●●●

超高齢社会を迎えたいま「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、地域に貢献できるセンターづくりに努めてまいります。



公益社団法人 中能登町シルバー人材センター

理 事 長 ^{ほっ}法 ^{きょう}橋 ^{ひで}秀 ^{きち}吉 氏

●●●抱 負●●●

高齢者の就業機会を確保するため、役職員が一丸となり、地域に密着し、地域に信頼されるセンターづくりに全力で努めてまいります。



公益社団法人 内灘町シルバー人材センター

理 事 長 ^{かみ}上 ^で出 ^{たか}孝 ^{ゆき}之 氏

●●●抱 負●●●

高齢化社会の中、会員の皆様の安全就業を徹底し、元気で楽しく地域に密着したセンターを目指して、役職員一同力を合わせて生きがいに努めたいと思います。

新任事務局長



公益社団法人 白山市シルバー人材センター

事務局長 ^{きた}北 ^{ぐち}口 ^{くに}邦 ^{ひこ}彦 氏

● ● ● 抱 負 ● ● ●

先の見えにくい現状ではありますが、職員と共に会員に信頼されるセンターとなるよう努力したいと思います。



公益社団法人 加賀市シルバー人材センター

事務局長 ^{だいまる}大丸谷 ^や清 ^{せい}治 氏

● ● ● 抱 負 ● ● ●

定年延長、年金支給開始年齢の引上げなど、事業を取巻く環境は厳しさを増してきていますが、円滑な事業推進に向けて微力ながら頑張っていきたいと思っています。



公益社団法人 中能登町シルバー人材センター

事務局長 ^{おお}大 ^{もり}森 ^{かず}一 ^{よし}義 氏

● ● ● 抱 負 ● ● ●

会員の皆様の安全就業と交流を促進し、地域に根ざした力強いセンターを目指し努力いたします。



公益社団法人 志賀町シルバー人材センター

事務局長 ^{よこ}横 ^{かわ}川 ^{そと}外 ^じ治 氏

● ● ● 抱 負 ● ● ●

職員の意識開発を始めとし、会員と共に円滑なセンター運営を図っていききたいと思います。



公益社団法人 内灘町シルバー人材センター

事務局長 ^こ児 ^{だま}玉 ^ゆ優 ^み美 氏

● ● ● 抱 負 ● ● ●

団塊世代の会員勧誘や女性会員の拡大を目指して、職員一同会員が生き生きと働けるように努力して参りたいと思います。

平成26年度 安全・適正就業推進大会の開催

平成26年度の安全・適正就業推進大会が、7月4日、金沢市ものづくり会館において、各シルバー人材センターから安全・適正就業推進委員など100余名出席のもと、盛大に開催されました。

大会は、谷安全・適正就業対策推進委員長の開会宣言で始まりました。須野原会長からは、「シルバー事業を取り巻く厳しい環境の中、ここにきて景気や雇用の状況が回復基調にある事などから、今年5月度の契約実績は、前年同月を若干上回る事ができました。引き続き、業績の回復につなげなければならないが、その大前提となるのが『安全・適正就業』であり、最優先に取り組むべき課題であります。皆様方のおかげで、ここ何年かは『重篤事故』が発生しておらず、その他事故も減少傾向にあったところですが、昨年は就業中の事故及び就業途上の『交通事故』などが増加し、重大な事故につながる恐れのある事例も見られることから、憂慮すべき状況にあり、今後は『ヒヤリ・ハット』事例の検証と、今年度の『安全標語』を実践する事で『事故撲滅』を目指したい。

先般の『シルバーで偽装請負』との新聞報道について、指導を受けた県内の該当事案は、全て解決済みであります。報道されたことに対する影響と反響は、非常に大きなものがあり、センターそのものの『信頼』を損ないかねない事です。公益社団法人としての自覚をしっかりと持ち、『就業時間』・『賃金単価』などの課題を含め、さらなる『適正就業』の徹底に今後ともご尽力願いたい。」という開会の挨拶がありました。



表彰式風景



麦山真珠美野々市市シルバー常務理事
(安全就業宣言)

した。

続いて来賓の佐藤雅文石川労働局職業安定部長からの祝辞、田中新太郎石川県商工労働部長の代理として湊政彦労働企画課長から祝辞をいただきました。

その後、今年度の安全就業標語の優秀作2点、佳作5点の入選者表彰があり、受賞された皆さんの「ちょっと緊張した」「誇らしげな笑顔」が、とても素晴らしいものでした。

次いで、今年度連合会が「労働衛生コンサルタント」として委嘱いたしました、医療法人（社団）洋和会、池田病院グループ・副理事長、「COH 労働衛生コンサルタント」、その他・多くの要職を持つ、医学博士の池田裕也先生に、「働くシルバー世代の健康管理」と題して講演をしていただき、「健康の保持増進の手段」として、喫煙・メタボ・ストレス・腰痛・熱中症・食事など、生活習慣病を含む幅広い要因と防止対策について、丁寧に教えていただきました。

安全に安心して「働くこと」そして「遊ぶこと」、何をするにも「健康な身体が資本」であり、今回の講演が皆様の「健康な身体づくり」を実現する一助になる事を切に願っております。

引き続き、「25年度事故発生状況」と「新聞報道」について事務局からの説明の後、野々市市シルバー人材センターの、麦山真珠美常務理事が「安全就業宣言」を読み上げ、野村安全・適正就業対策推進副委員長が、「閉会宣言」を行って閉会となりました。

《平成26年度 安全就業標語入選者及び作品》

平成26年度の応募状況は、県内18センター全てから85点の応募があり、連合会の安全・適正就業専門委員・連合会会長・事務局長で厳正に審査の結果、優秀作2点、佳作5点が選ばれました。

【優秀作】2点

- ☆ 生き甲斐も 楽しい作業も 無事故から う え だ 上田 よ し も り 吉森 (公社)能登町シルバー人材センター
 ☆ 気の緩み 他人まかせが 事故のもと こ い し 小石 ま さ た か 正孝 (公社)中能登町シルバー人材センター

【佳作】5点

- ☆ いつやるの？ 安全点検 今でしょ あ ぶ ら い 油井 む つ き 睦樹 (公社)かほく市シルバー人材センター
 ☆ 安全は 手順厳守の 積み重ね！ さ か の 坂野 か ず お 一男 (公社)羽咋市シルバー人材センター
 ☆ さあ今日も 目配り気配り 安全作業 な か だ 中田 て る こ 映子 (公社)小松市シルバー人材センター
 ☆ 緊張の 切れた矢先が 落とし穴 ふ じ い 藤井 ほ ぐ が い 北涯 (公社)中能登町シルバー人材センター
 ☆ 事故防止 一人一人の 心がけ ま つ だ 松田 つ ね お 常男 (公社)宝達志水町シルバー人材センター



須野原会長を囲んで受賞者の皆さん

平成26年度 安全パトロール計画

回	日 時	パトロール先 (対象SC)	パトロール 参加SC
第1回	7月23日(水) 10:30～	輪島市SC	輪島市SC 能登町SC 珠洲市SC 穴水町SC
第2回	7月24日(木) 9:30～	内灘町SC	内灘町SC かほく市SC 津幡町SC 宝達志水町SC
第3回	7月25日(金) 9:30～	金沢市SC	金沢市SC 白山市SC 野々市市SC
第4回	7月28日(月) 10:00～	能美市SC	能美市SC 加賀市SC 小松市SC
第5回	7月29日(火) 10:00～	七尾市SC	七尾市SC 志賀町SC 中能登町SC 羽咋市SC

※ パトロールは、SC集合の後2現場を視察します。
 ※ パトロール終了後、SC会議室にてチェック表をもとに意見交換を行います。

県内の事故発生状況について

平成26年6月30日(単位:人)

事故の状況	年度	事故の発生内容							性別・年代別					
		就業・途上別			事故の程度				男		女		計	
		就業中	途上	計	死亡	入院	通院	後遺	計	60代	70代	60代		70代
墮落・転落	26	2		2			2		2			2		2
	25	(4)	(0)	(4)	0	(0)	(4)		(4)	(2)	(1)	(1)	(0)	(4)
転倒	26			0					0					0
	25	(3)	(1)	(4)	1	(2)	(2)	1	(4)	(1)	(1)	(2)	(0)	(4)
衝突・衝突	26			0					0					0
	25	(5)	0	(5)	0		(5)		(5)	(2)	(2)	(1)		(5)
飛来・落下	26			0					0					0
	25	(1)	0	(1)	0		(1)	0	(1)	0	(1)	0		(1)
崩壊・倒壊	26			0					0					0
	25			0					0					0
はさまれ・ 巻込まれ	26			0					0					0
	25	(1)	0	(1)	0		(1)	0	(1)	0	(1)	0		(1)
切れ・こすれ	26	1		1			1		1		1			1
	25	(7)	1	(8)	1	(1)	(6)	1	(7)	1	(6)	1		(7)
踏抜き・刺し	26			0					0					0
	25			0					0					0
交通事故	26			0					0					0
	25		(3)	(3)	0	(2)	(1)	0	(3)	(1)	0		(2)	(3)
動作の反動・ 無理な動作など	26	1		1			1		1	1				1
	25	(3)	0	(3)	0		(3)	0	(3)	(1)	0	(1)	0	(3)
蜂・犬・蛇等に 刺され、噛まれ	26	2		2			2		2		2			2
	25	(31)	0	(31)	0		(31)	0	(31)	(19)	(7)	(3)	(2)	(31)
その他	26	2		2			2		2		1			2
	25	(5)	1	(6)	1	(1)	(4)	1	(5)	1	(5)	1		(5)
計	26	8	0	8	0	0	8	0	8	2	4	2	0	8
	25	(60)	2	(62)	3	0	(6)	(58)	3	(32)	1	(20)	1	(53)

(備考) 平成25年度の()内は同年度末の状況



須野原雄連合会長
あいさつ



谷充行安全・適正就業対策
推進委員長の開会宣言



野村徳行安全・適正就業対策
推進副委員長の閉会宣言

シニアの『健康相談室』

7月は、シルバー事業の「全国安全月間」です。各シルバー人材センターでは、安全に関するさまざまな取り組みを推進していますが、会員の就労環境はめまぐるしく変化しており、高齢者が安全に働くためには一層の取り組みが必要になってきています。

本連合会の「安全就業委員会」でも年齢を考慮した会員の健康管理や事故防止対策など、会員が安心して就業できる環境について医学的見

地からのコンサルティングを望む意見が多くあり、その対策として今年から新たに『池田裕也医師』に労働安全衛生コンサルタント業務をお願いいたしました。

池田医師には、会員の就労に関する労働安全の指導助言、安全大会等での講演や機関誌「シルバー連合会いしかわ」で『シニアの健康相談室』をご担当いただくなど、会員の健康増進にご協力いただくこととしました。

いけだ ひろや 池田 裕也 先生 プロフィール

昭和 61 年 3 月 金沢医科大学 卒業
 昭和 61 年 4 月 金沢医科大学医学部博士課程修了
 金沢医科大学婦人科学教室 助手
 昭和 61 年 10 月～平成 元 年 12 月
 米国保健衛生研究所
 平成 3 年 4 月 金沢医科大学産婦人科 講師
 平成 3 年 12 月 医療法人洋和会 池田病院



<現在> 医療法人洋和会 副理事長
 社会福祉法人洋和会 理事
 社会福祉法人加賀中央福祉会 理事
 労働衛生コンサルタント
 日本医師会認定 産業医
 日本医師会認定 健康スポーツ医
 人間ドック健康情報管理指導士



安全・適正就業推進大会で講演

★健康診断を受けましょう★

この度、石川県シルバー人材センター連合会の皆様の健康管理のお手伝いを微力ながらさせていただくことになりました。

職業に就いている間は労働安全衛生法で事業者が一般健康診断、有害業務を行う人には特殊健康診断を実施することが義務づけられています。その結果や医師等の意見に基づき時間外労働時間、出張回数の制限や健康相談実施などの事後措置が行われます。

しかし、一旦現役を退けば住民健診を受けるか、または医療機関による治療や保健指導による健康管理に頼ることになりますがほとんどは後者に任せっきりというのが実態ではないでしょうか。

近年、保険者（職域、地域を含む）が40歳以上の国民に健康診査を実施し、一定の有所見者に保健指導を実施することになりました。いわゆるメタボ健診です。

石川県の特定健康審査受診率は37%（平成23年11月 全国平均32%）でした。

シルバー世代の全人口に占める割合が今後増加していくことが予想されています。60歳以降も仕事をしたい人のなかで65%の人が可能な限り仕事をしたいという調査結果もあります（厚生労働省「中高年者の生活に関する継続調査」）。

一方、健康診断における有所見率は年齢とともに上昇していきます。歳を重ねると経験、知識や人脈が豊富で粘り強くコツコツと仕事をやり遂げるという利点がある反面、視力・聴力・筋力の低下、生活習慣病やがんなど疾病を抱えている人も多くなり、急激な変化に対応しにくいなどの特性にも留意しなくてはなりません。

私どもが皆さんの健康不安、現在の仕事、あるいは予定の仕事の健康上の適否についてご相談を受ける時、心身の状態をできる限り知っておくことは重要なことです。各種の健康診断、人間ドックの結果や通院状況、検査結果、服薬記録などの詳細な情報はその判断の補助となります。

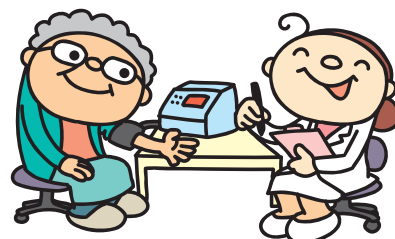
皆様には機会を見つけて健康診断を少なくとも『年に一回』は受診してください。そして、有所見があれば必ず医師または保健師等に結果についてアドバイスを受けてください。また、支障の無い範囲で構いませんから、結果などをお知らせいただければ個人の状況の正確な把握と対応が可能となります。

就業人口減少の補完というネガティブな発想ではなく、自分たちが若者を指導するという気持ちを持って現場でご活躍していただきたいと思います。

私自身も少しストレスを感じながら、健康維持のために働ける日まで仕事を続けるつもりでいます。

暑い日々が続いておりますが、熱中症等には十分注意し、夏を乗り切ってください。皆様の健康と貴会の益々のご発展をお祈りいたします。

池田 裕也



平成26年度シニアワークプログラム 地域事業実施状況

当連合会では、国から委託を受けて、55歳以上の高年齢求職者等を対象に、雇用（常用・パート）を前提とした技能講習会、そして講習終了後の面接会等を実施しています。

平成26年度のシニアワークプログラム地域事業は、55歳以上の高年齢求職者を対象に、雇用を前提とした技能講習のほか職場体験の実施や就業支援講座による支援、また、ハローワークとの連携による管理選考や面接会等を拡充するとともに、雇用・就業率を高め

るため、企業の求人ニーズ及び高年齢者の求職ニーズを調査・分析した上で、密度の濃いキャリアコンサルティングを実施するなど、雇用につなげる一貫したフォローアップ体制を見直すことにより雇用・就業の支援を強化することとしました。

技能講習

●：実施済（平成26年6月末日現在）

講習名	開催地区	受講定員	修了者
造園・刈払機	加賀、七尾、野々市、穴水、中能登、能美、能登、津幡	125人	65人
営農アシスタント	小松、能登、加賀、中能登	75	0
造園・ガーデニング・刈払機	羽咋	15	0
経理事務&IT	金沢、小松	40	16
オフィス・ハウスキーピング&調理	白山、かほく、珠洲、輪島、野々市、羽咋、七尾、能美	140	23
フォークリフト	金沢、小松、穴水	48	15
介護職員初任者研修	金沢、小松	30	0
実践介護	白山、羽咋、能登、七尾	60	0
警備業務	金沢、小松	35	0
ビジネスPOP	金沢	20	0
合計	35回	588	119



加賀営農講習会場（6/5）



カボチャの収穫（6/24）



小松営農講習現場（6/30）



造園・刈払機講習
6/16～6/17
【野々市市会場】



造園・刈払機講習
6/16～6/24
【穴水町会場】



オフォス・ハウスキーピング＆
調理講習
6/18～6/26
【かほく市会場】

就業支援講座

(平成26年6月末日現在)

開催地域	内 容	回 数	定 員	実施済	受講者
県 央 地 域	生活設計、求職活動	11 回	196 人	5 回	94 人
加 賀 地 域	生涯現役、生活設計	9	151	1	13
能 登 地 域	マナーと心得、社会参加	15	241	3	35
合 計		35	588	9	142
25年度実績		32	640	591	591



5/30【七尾市会場】
元橋講師



6/20【金沢市会場】
倉本講師



6/20【白山市会場】
谷内講師

管理選考会及び合同面接会

アベノミクス効果と消費税の影響で雇用失業情勢の推移が懸念されたところですが、平成26年5月の有効求人倍率は1.33倍と高水準で推移しており、有効求人数は17ヶ月連続で前年同月を上回っています。一方有効求職者数は52ヶ月連続で前年同月比減少となっており、人材確保に苦慮する企業が増加しているようです。

このような状況から、管理選考会等に参加する企業に変化が見られ、特に人手不足と思われる

る業界に積極性がうかがえます。

雇用失業情勢は改善傾向にあるものの、高年齢求職者ニーズと企業ニーズのミスマッチから高年齢者の雇用環境は依然として厳しく、再就職は困難な状況にありますが、参加した企業及び求職者双方から好評をいただいていることも事実であります。

今後においても、ハローワークとの連携や当連合会の雇用確保推進員を活用し、より多くの高年齢者が再就職できるよう支援を行ってまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。

平成26年度 管理選考会(合同面接会)開催計画表

(平成 26 年 6 月 30 日現在)

回 数	開 催 日	時 間	開 催 会 場	開 催 地 域	企 業	求 人 数	求 職 者	就 職
第 1 回	5月22日(木) 造園・刈払機	11:00	加賀市セミナーハウスあいりす	小松・加賀地域	6 4	10 31	13	5
第 2 回	5月30日(金) 造園・刈払機	11:00	七尾市勤労者総合福祉センター	七 尾 地 域	6 3	11 14	13	3
第 3 回	6月20日(金) 経理・家事・造園	11:00	金沢市ポリテクセンター石川	金沢・白山地域	13 8	52 104	35	3
第 4 回	6月24日(火) 造園・刈払機	11:00	穴水町ポリテクカレッジ石川	輪 島 地 域	3 2	8 11	9	2
第 5 回	6月26日(木) 家事援助	11:00	かほく市高松産業文化センター	金沢・津幡地域	6 4	19 30	11	0
第 6 回	6月27日(金) 造園・刈払機	15:00	中能登町ラピア鹿島	七 尾 地 域	5 1	13 19	10	0
第 7 回	6月30日(月) フォークリフト	11:00	金沢市キャタピラ教習所	金 沢 地 域	9 6	18 43	15	0
第 8 回	7月 1日(火) 実践介護	11:00	白山市市民交流センター	金沢・白山地域				
第 9 回	7月 8日(火) 家事援助	11:00	珠洲市ふれあいの里健康増進センター	能 登 地 域				
第10回	7月10日(木) 家事援助	11:00	輪島市シルバー人材センター	輪 島 地 域				
第11回	7月31日(木) 造園・刈払機	11:00	羽咋市シルバー人材センター	七尾・羽咋地域				
第12回	8月28日(木) 家事援助	11:00	野々市市中央公民館	金沢・白山地域				
第13回	9月 1日(月) 家事援助	11:00	宝達志水町民センターアステラス	七尾・羽咋地域				
第14回	9月 2日(火) 警備業	11:00	小 松 市 公 会 堂	小 松 地 域				
第15回	9月 9日(火) 介護職員初任	11:00	小 松 商 工 会 議 所	小 松 地 域				
第16回	9月12日(金) 実践介護	11:00	羽咋勤労者総合福祉センター	七尾・羽咋地域				
第17回	9月17日(水) 造園・刈払機	11:00	能登町星の観察館「満天星」	能 登 地 域				
第18回	9月18日(木) 造園・営農	15:00	能美市寺井地区公民館	小 松 地 域				
第19回	9月19日(金) 家事援助	11:00	七尾市サンライフプラザ	七 尾 地 域				
第20回	9月22日(月) 警備業	11:00	金沢市ポリテクセンター石川	金 沢 地 域				
第21回	9月24日(水) フォークリフト	11:00	小 松 市 末 広 体 育 館	小 松 地 域				
第22回	10月 1日(水) 営農アシスタント	11:00	加賀市下福田町民会館	小松・加賀地域				
第23回	10月 2日(木) 営農アシスタント	11:00	中能登町ラピア鹿島	七 尾 地 域				
第24回	10月10日(金) 家事援助	11:00	能美市根上学習センター	小 松 地 域				
第25回	10月10日(金) フォークリフト	11:00	穴水町ポリテクカレッジ石川	輪 島 地 域				
第26回	10月17日(金) 介護職員初任	11:00	金沢市ポリテクセンター石川	金 沢 地 域				
第27回	10月29日(水) 営農・実践介護	11:00	能登町コンセール能登	能 登 地 域				
第28回	10月31日(金) 造園・刈払機	11:00	津幡町サンライフ津幡	金沢・津幡地域				
第29回	11月10日(月) 経理&IT	11:00	小 松 商 工 会 議 所	小 松 地 域				
第30回	11月11日(火) ビジネスPOP	11:00	金沢市ポリテクセンター石川	金 沢 地 域				
第31回	11月14日(金) 実践介護	11:00	七尾市勤労者総合福祉センター	七 尾 地 域				
合 計					48 28	131 252	106	13
※参考 平成25年度実績 (24回)					275 218	796 2,035	433	96

※企業欄:上段/求人確保企業数、下段/面接会参加企業数 求人数欄:上段/件数、下段/求人数

造園・刈払機講習面接会
5/22【加賀市会場】造園・刈払機
オフィス・ハウスキーピング&調理
経理&IT 合同面接会
6/20【金沢市会場】合同面接会
金沢ハローワーク職員との相談
6/20【金沢市会場】

受託事業受講者コーナー

シニアワークプログラム技能講習 受講者からの声

「ビジネスPOP講習」を受講して

金沢市 みやこし さよこ 宮腰 小代子 さん



再就職を考えていた私には、苦手にしていただいていたものがあ
りまして、今までもいろいろな機会を講習会に参加させて
頂きましたし、仕事の面でも少しは触れてきましたが、離

職して再就職のために、履歴書に資格として記入する
には不安がありました。

そんな時に、石川県シルバー人材センター連合会
でパソコンを活用した「ビジネスPOP講習」を開
催するから受けてみないか、希望している就職先で
活かせるのではないかと担当者から助言していただ
いた。ワープロの入門から、図形の挿入、塗りつぶ
し方法等の技術が習得できるコースで迷いなく参加
しました。5日間のコースで何回も何回も同じ失敗
を繰り返したが、何とか最終日までには、家具屋さ
んの「新生活応援セール」とか「夏祭り・浴衣」の
ポスターを完成するようにまでなりました、担当し
た先生には感謝感謝です。

参加者は、20名でしたが、同じ課題のポスターで
したが、色の違い・図柄の配置・文字の種類・大き
さ等個性が出ることを改めて学びました。履歴書に
は資格として書くにはまだまだですが、これからの
就職活動には、プラスになったと感じた講習でした。
と同時に、色々な事への興味、実行、行動する
事や人と人との繋がりの大切さを今の年齢になっ
てしみじみと感じた次第です。そしてシルバーセン
ターの皆さんからお知恵をお借りして、就職活動
を始めています。

今後ともご指導方よろしくお願ひいたします。



自作のポスター

「造園&ガーデニング講習」を受講して

金沢市 かさしま あつむ 笠島 萃 さん



47年間の会社勤務を人生の区切りとして、3月一杯で
退職しスローライフの日々となりました。退職後、生家の
維持をしなくてはならなくなり、今までの仕事とは異なる

自然に関わる仕事を続けることが必要になりました。

生家の敷地の、古木の樹木と空地の畑を維持する
ために、何かないか模索しておりましたとき、石川
県シルバー人材センター連合会主催の「造園&ガー
デニング技能講習」を知り、FAXで早速受講申し
込みをしました。受講案内が届いたときは、大変うれ
しく思いました。

講師は、立花造園(株)会長で樹木医の立花武志先生
が、手作りの教材により『小島流・自然風』を、教
えて頂きました。

「はがき」の原木を初めて知り「葉に直接文字を書
いていたとき」が偲ばれます。

土を作る「ミミズさん」の大切さや「モグラ」の
撃退方法などは、大変良かった。また、先生の腰痛
経験談からの「姿勢と健康」は、日々の生活に役立
てております。

受講後は、庭木を見るたび「自然風」と「仕立て
風」を区別して見るようになり、自宅や生家の樹
木・垣根などの剪定に、日々活用させて頂いており
ます。

最後になりますが、ご指導いただいた立花先生は
じめ、石川県シルバー人材センター連合会の関係者
には感謝し、今後とも私たち高齢者の就業活動の支
援についてよろしくお願ひいたします。

本当に、有難うござ
いました。



造園&ガーデニング講習風景
(ロープワーク)

シルバー人材センターだより

公益社団法人 金沢市シルバー人材センター

『山の灯り“里”サポート事業』

金沢市シルバー人材センターでは里山活性化のための拠点となる「山の駅“里”」を誕生させて3年目を迎えました。

この「山の駅“里”」は金沢市と連携し、熊走町の民家を借りて事務所や休憩室を設置したもので、市の「山の灯り(あかり)“里”サポート」モデル事業です。

県都金沢市の中山間地域の約120集落のうち34集落は65歳以上高齢者が住民の半数以上を占めている状況で、この事業「山の駅“里”」の指定地域に選ばれた熊走町も23年度現在、住民41人のうち25人が65歳以上です。市が目指している“里山ビジネス”と“交流人口の拡大”を狙いとし、住民が採取した山菜の直売、耕作放棄地の活用、鳥獣被害の防止、住民の家事・買い物支援などをするために、金沢市シルバー人材センターの会員がこの「山の駅“里”」に常駐しサポートしています。

熊走町は、金沢市街地を流れる男川(犀川)の最奥地の山里で、市の南東約20キロに位置し、金沢市シルバー人材センターの活動事業としては、伝統の加賀料理に添える“つまもの”としての「葉っぱビジネス」を本格化させるために、収穫物の衛生面や管理作業面を考慮して、遊休地を整備し事業開始から3年で採算が見込

熊走町・山の灯り“里”



収穫された野菜を
食べる子供達

市民による野菜
作り体験



遊歩道の完成

める38品種(モミジ、南天、榊、桜、柊等)の植栽に取り組み事業を開始しました。事業の一環として住民38人のうち60歳以上でこの作業が可能な17人の方全員が、快く会員登録していただき、地域ぐるみで会員として活動して頂いていることは、全国的にも特筆できる「活動システム」ではないかと考えます。

更に、25年度には厚生労働省の企画提案方式事業として採択され、「つまもの」生産のほか遊歩道の整備やシイタケ・ギンナン・栗等の特産品も事業拡大に繋げて、まさに「山の駅“里”」を拠点として熊走町民が一体となった「山の灯り(あかり)“里”サポート」モデル事業は、生産出荷が実現し、将来的には同様の活動が他の中山間地域に広がり、ひいては、金沢市シルバー人材センターの活性化に繋がるものと思います。

また、地域間の交流人口拡大面からは、「山の駅“里”」を設置したことで、金沢市内の保育所や小学校の散策会において集落の高齢者との交流機会も増えて「孫とじいちゃん・ばあちゃん」の間柄ができ、とても和やかな明るい会話とおやつの時間が「山の駅“里”」を中心に持たれるようになりました。これからは当初の予想以上に交流人口の拡大が期待できるのではないかと考えております。

新規事業の紹介

平成26年度 シルバー人材センター 支援事業

<基本指針>

シルバー人材センターを取り巻く状況は、高齢法改正で希望者全員が65歳まで継続雇用を確保されることなどから会員が減少傾向にあります。

このような状況下で、新規会員の確保は勿論、現会員の技能の向上に努めることが、地域社会により貢献できることから、シルバー事業を推進する必要があります。

最近のシルバーの就業現場では、安全と適正就業の徹底が一層求められ、雇用契約面でも契約の形態の見直しや変更の指導もあります。会員の業務範囲で屋外清掃等の刈払作業では、「安全講習修了者に限る」と付され、就労機会が大幅に減少し、各センターでは対応を急がれており、当面、「刈払機操作講習」を支援し、県内各センター会員の就業機会の拡大に寄与したいと考えています。

<支援方法>

- 1 実施講習 刈払機操作講習(学科5 H実技1 H)
 - 2 実施方法 下記「フローチャート」参照
 - 3 対 象 者 県内の各シルバー人材センター会員
 - 4 対象人員 各シルバー人材センター10名程度
 - 5 費用負担 石川県シルバー人材センター連合会
 - 6 開催計画 「センター支援事業計画・実績表」のとおり。
- なお、他のコースについて希望があった場合は、都度協議とする。

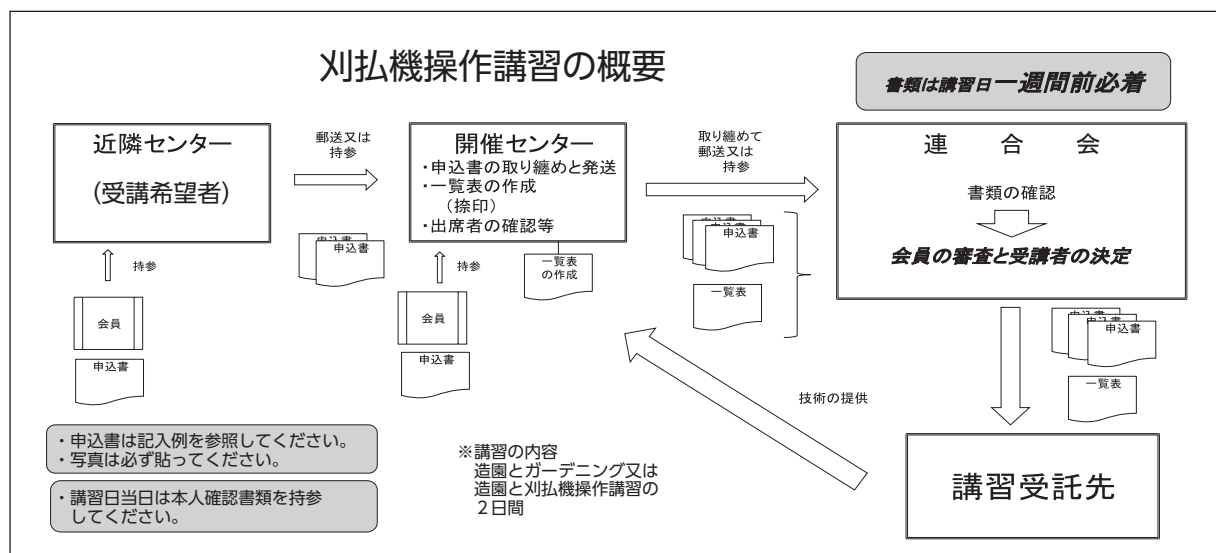
平成26年度 センター支援事業 計画・実績表

実 績

刈払機操作講習	造園講習(剪定鋏の使い方)
開催回数 6回	開催回数 1回
応募者 112名	応募者 60名
受講者 109名	受講者 60名
修了者 105名	修了者 60名

計 画

刈払機操作講習
開催予定 4回
定 員 40名(10名/1回)



剪定鋏の使い方講習(基本作業) 5/16【志賀町会場】



刈払機操作講習
6/16・17【野々市市会場】

普及啓発事業紹介

国の生涯現役社会活躍応援事業の「基盤拡大事業」の柱は、平成26年度においては、「会員の拡大」及び「就業機会の拡大」の2本といえます。例年4月が会員拡大及び就業機会の拡大には絶好の機会であると捉えています。

連合会としては、これまで以上に県内のセンターを支援するため、県内の購読シェアが最も高い北國新聞に3月23日(日)付けで「紙面の1/3を占める広報」により事業紹介をしました。併せて「ポスター」「パンフレット」「クリアファイル」などを新規に作成し、業界団体等を訪問して傘下の企業への配布や掲示を依頼し、就業機会の拡大に努めています。

また、「石川県中小企業団体中央会」の機関誌に継続的に年5回事業内容の紹介をさせていただく予定です。

一方、「会員募集中」「安全就業中」ののぼり旗を作成し県内のセンターへ配布することで、会員の安全意識と就業意欲の高揚を図るとともに、「安全パトロール実施中」のステッカーを携行することで安全への危機意識と自覚を促しています。



新聞広告でシルバー事業をPR

3月23日(日)北國新聞

私たちシルバー人材センターは、『生涯現役社会の実現』に向けて努力しています。

地域で、企業で、ご家庭で
活かそう! シルバーパワー

石川県では現在約10,000人の方が、豊富な知識と経験を活かして元気に就業しています。

60歳以上のシニア世代の皆さんへ
会員募集
定年後もまだまだ働きたい高齢者を応援します!
まずは会員登録を!
定年退職を過ぎてもまだに元気にあなただけのために、ひとのために、そして自分のために、シルバー人材センターで新たな生きがいを感じませんか?

ご家庭・事業所・各種団体の皆さんへ
仕事依頼
地域や企業の皆さんのちょっとした困ったをお手伝い!
人を雇うまでもなく、専門業者に頼むほどでもない、かといって誰かに頼むのが面倒、そんな時は、シルバー人材センターを通していませんか?
インターネットからお仕事のお問い合わせ <http://silvernet.jp/> シルバーしごとネット

技術	管理	一般作業	事務	外交	サービス	専門技術
大工仕事 木工関連 和洋装、など	施設管理 駐車管理 駐輪場管理、など	公園清掃 除草、取外し 古物、など	一般事務 電算機 宛名書き、など	広報誌の配布 機材、集金、など	費定支援 事務サービス お車の掃除、など	機器教室講師 家庭教師 経理事務、など

お問い合わせは、あなたのまちのシルバー人材センターへ。

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
〒920-0862 石川県金沢市南陽1丁目15-15(石川県職業能力開発センター2階)
TEL:076-222-4680 FAX:076-222-4681 E-Mail:silvernet@sjc.ne.jp
●ホームページで詳しく! 石川シルバー <http://www.sjc.ne.jp/shikawa/>

公益社団法人 金沢市シルバー人材センター ☎076-222-2411	公益社団法人 野々市市シルバー人材センター ☎076-294-8303	公益社団法人 津田町シルバー人材センター ☎076-288-4462
公益社団法人 小松市シルバー人材センター ☎0761-47-2855	公益社団法人 珠洲市シルバー人材センター ☎0768-82-6886	公益社団法人 中能登町シルバー人材センター ☎0767-76-8060
公益社団法人 七尾市シルバー人材センター ☎0767-52-4680	公益社団法人 能登市シルバー人材センター ☎0768-23-8033	公益社団法人 能美市シルバー人材センター ☎0761-58-4060
公益社団法人 加賀市シルバー人材センター ☎0761-73-2456	公益社団法人 登別市シルバー人材センター ☎0768-76-2680	公益社団法人 宝達志保町シルバー人材センター ☎0767-29-4850
公益社団法人 白山市シルバー人材センター ☎076-275-7604	公益社団法人 かほく市シルバー人材センター ☎076-281-3655	公益社団法人 内灘町シルバー人材センター ☎076-286-2992
公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター ☎0767-22-2700	公益社団法人 志賀町シルバー人材センター ☎0767-42-2170	公益社団法人 穴水町シルバー人材センター ☎0768-52-4680

普及啓発製品の活用利用



のぼり旗（連合会玄関）



のぼり旗（津幡町シルバー人材センター）



安全パトロール（羽咋市シルバー人材センター）



機関誌（石川県中小企業団体中央会）



チラシ・パンフレット等



チラシ・パンフレット等

県内のシルバー事業の実績

区 分		会 員 の 状 況			契 約 実 績 の 状 況					
		会 員 数			公 共		民 間		一 般 家 庭	
		計 ① 人	男 ② 人	女 ③ 人	延件数④ 件	金 額 ⑤ 千円	延件数⑥ 件	金 額 ⑦ 千円	延件数⑧ 件	金 額 ⑨ 千円
平成21年度	請負・委任	10,482	6,688	3,794	10,634	1,054,777	25,302	2,041,882	31,215	536,967
平成22年度	請負・委任				10,071	1,041,286	24,590	1,927,615	33,611	574,873
	派遣				728	96,891	821	156,870	0	0
	計	10,385	6,652	3,733	10,799	1,138,177	25,411	2,084,485	33,611	574,873
平成23年度	請負・委任				10,248	1,072,019	25,104	1,919,600	35,055	594,759
	派遣				742	71,908	899	129,727	0	0
	計	10,116	6,447	3,669	10,990	1,143,927	26,003	2,049,327	35,055	594,759
平成24年度	請負・委任				9,648	888,658	24,846	1,780,200	35,169	596,039
	派遣				1,279	190,501	1,327	197,123		
	計	10,006	6,336	3,670	10,927	1,079,159	26,173	1,977,323	35,169	596,039
平成25年度	請負・委任				9,029	850,534	23,475	1,605,765	35,826	597,783
	派遣				1,612	215,821	2,322	368,019	0	0
	計	9,878	6,268	3,610	10,641	1,066,355	25,797	1,973,784	35,826	597,783

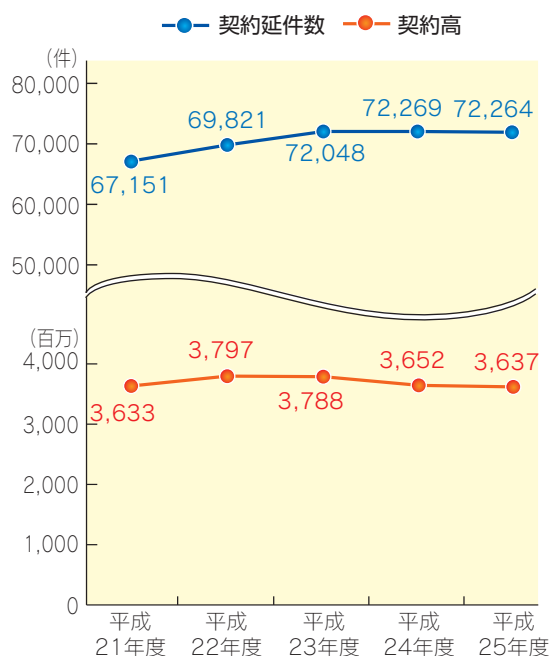
区 分		契 約 実 績 の 状 況		配分金・賃金 ^⑫ 千円	就 業 実 績 の 状 況			就業会員1人当りの実績		
		計			就業実人員 ^⑬		就業延 人員 ^⑮ 人日	日数 ^⑯ (^⑮ / ^⑬) 日	一日当 配分金・ 賃金 ^⑰ (^⑫ / ^⑮) 円	一月当 配分金・ 賃金 ^⑱ (^⑫ × ^⑰ /12) 円
		延件数 ^⑩ 件	金 額 ^⑪ 千円		人	就業率 ^⑭ (^⑬ / ^①)× 100 %				
平成 21年度	請負・ 委任	67,151	3,633,626	3,225,812	8,794	83.9	851,167			
平成 22年度	請負・ 委任	68,272	3,543,773	3,139,284	8,274	79.7	831,903	^{※1} 8.4	3,774	^{※2} 31,702
	派遣	1,549	253,760	209,361	538	5.2	50,636	^{※1} 7.8	4,135	^{※2} 32,253
	計	69,821	3,797,534	3,348,645	8,812	84.9	882,539			
平成 23年度	請負・ 委任	70,407	3,586,377	3,164,987	8,239	81.4	837,972	^{※1} 8.5	3,777	^{※2} 32,105
	派遣	1,641	201,635	165,122	455	4.5	43,072	^{※1} 7.9	3,834	^{※2} 30,289
	計	72,048	3,788,013	3,330,109	8,694	85.9	881,044			
平成 24年度	請負・ 委任	69,663	3,264,897	2,854,744	7,884	78.8	789,333	^{※1} 8.3	3,617	^{※2} 30,021
	派遣	2,606	387,624	320,708	775	7.7	71,626	^{※1} 7.7	4,478	^{※2} 34,481
	計	72,269	3,652,521	3,175,453	8,659	86.5	860,959			
平成 25年度	請負・ 委任	68,330	3,054,083	2,647,581	7,536	76.3	729,539	^{※1} 8.1	3,629	^{※2} 29,395
	派遣	3,934	583,839	483,248	1,217	12.3	119,096	^{※1} 8.2	4,058	^{※2} 33,276
	計	72,264	3,637,922	3,130,829	8,753	88.6	848,635			

※1 1か月当たり就業日数

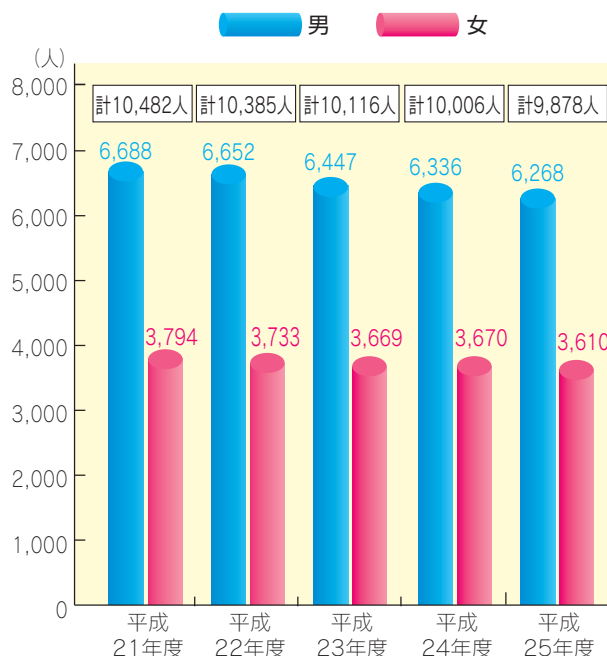
※2 ⑯×⑰

注 計を四捨五入

事業契約件数・契約高の推移



会員数の推移



表紙写真の説明

金沢百万石まつり

加賀藩祖・前田利家公が、天正11（1583）年6月14日、金沢城に入城したことにちなんだもので、入城の行列を再現した百万石行列をはじめ、薪能、茶会等のイベントが、6月上旬の土曜日を中心とした3日間に行われています。

今年は、6月7日（土）に行われた百万石踊り流しに（公社）金沢市シルバー人材センターの会員が参加しました。

編集後記

『シルバー連合会いしかわ』32号が、皆様からのご協力をいただき発行することができました、心より感謝申し上げます。

平成26年も半分が過ぎ、シルバー事業年度では1四半期が過ぎ、試行錯誤の助走期間が終わりました。立ち上がりに気がゆるむと物事は前進しないと教えられ、真剣に取り組む行動には時間の長さは感じないと言われますが、自らを振り返る目安ではないでしょうか。

金沢には、湯涌地区で冬の間に雪を貯蔵しておく氷室（ひむろ）というものがあります。氷室に詰められた雪を観光客に振る舞う“氷室開き”や、“無病息災”を願い「氷室饅頭」を知人や家族で嗜む風物詩があります。

冷房のなかった江戸時代、加賀藩前田家が将軍家に氷室の雪を届けたと伝えられています。来春からは、新幹線が江戸と加賀をより身近にしてくれます。時代に乗り遅れないように、心して歩まなければならないと考え次第です。

あなたの街の シルバー人材センター

公益社団法人

金沢市シルバー人材センター TEL 076-222-2411

公益社団法人

小松市シルバー人材センター TEL 0761-47-2855

公益社団法人

七尾市シルバー人材センター TEL 0767-52-4680

公益社団法人

加賀市シルバー人材センター TEL 0761-73-2456

公益社団法人

白山市シルバー人材センター TEL 076-275-7604

公益社団法人

羽咋市シルバー人材センター TEL 0767-22-2700

公益社団法人

野々市市シルバー人材センター TEL 076-294-8303

公益社団法人

珠洲市シルバー人材センター TEL 0768-82-6886

公益社団法人

輪島市シルバー人材センター TEL 0768-23-8033

公益社団法人

能登町シルバー人材センター TEL 0768-76-2680

公益社団法人

かほく市シルバー人材センター TEL 076-281-3655

公益社団法人

志賀町シルバー人材センター TEL 0767-42-2170

公益社団法人

津幡町シルバー人材センター TEL 076-288-4462

公益社団法人

中能登町シルバー人材センター TEL 0767-76-8060

公益社団法人

能美市シルバー人材センター TEL 0761-58-4060

公益社団法人

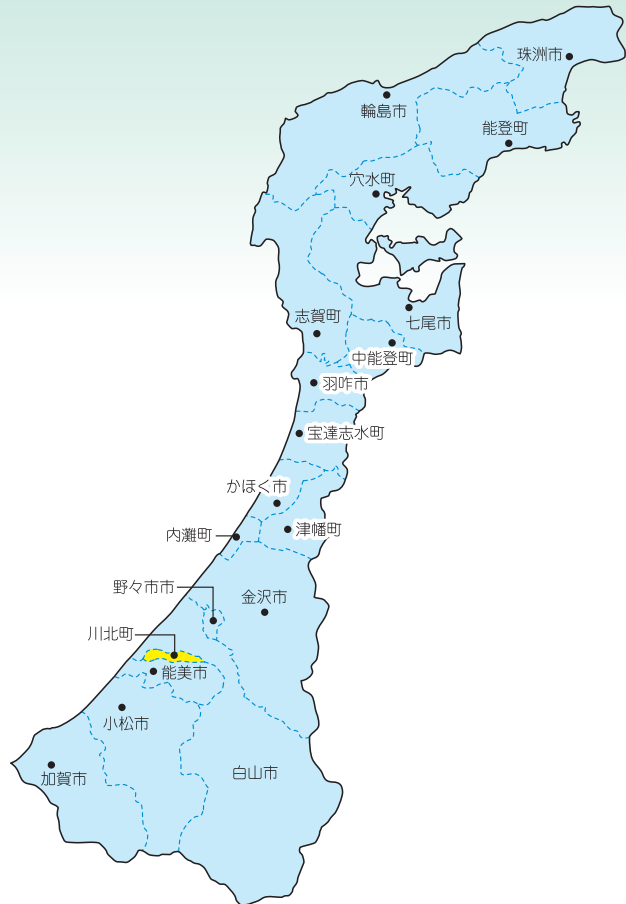
宝達志水町シルバー人材センター TEL 0767-29-4850

公益社団法人

内灘町シルバー人材センター TEL 076-286-2992

公益社団法人

穴水町シルバー人材センター TEL 0768-52-4680



設置市町 (18市町)

未設置市町 (1町)

(平成26年4月1日 現在)

